

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	穎娃おこそ会
役職	
氏名	原本太郎
着任日	令和3年4月1日

活動月	令和3年11月（着任8ヶ月）
主な活動	1. 番所鼻公園でのイベントの開催 2. 視察・修学旅行の受け入れ 3. 京都視察

1. 番所鼻公園でのイベントの開催

11月はファーマーズマーケット「アグリビッツ」の2回目を11月13日（土）に、キッチンカーイベント「絶景ごはん」の5回目を11月28日（日）に開催しました！両日とも天候に恵まれ、好評ではありましたが、夏季と比べると若干公園の利用者数が少ないように感じました。今後、さらに寒さが厳しくなるので、冬季の公園の楽しみ方や発信・告知の方法についても考えていきたいと思います。

公園でのイベント等の詳細については、SNS等で発信していきます。



Instagram▶
@agribits_
farmersmarket



【SNS】

Facebook▶「番所鼻自然公園」

Instagram▶@Bandokorobana_Park



BANDOKOROBANA.PARK

2. 視察・修学旅行の受け入れ

新型コロナウイルスの感染者数が減少し、潁娃町への視察も増えてきた1ヶ月でした。

今月は、鹿児島県や南薩地域振興局主催のものや熊本県八代市坂本町の方々が視察に訪れ、番所鼻公園の取り組みについても説明させていただきました。

また、広島県からの修学旅行の受け入れもあり、公園内でキッチンカーによるランチ提供を行い、公園でのひとときを楽しんでもいただきました。



3. 京都視察

関係人口（＝移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉）をいかに広げるかを日本各地の過疎地域のメンバーが各地を巡りながら議論する事業の一環で、今回、京都の与謝野町に視察に行きました。与謝野町では20代のメンバーで経営する会社が、与謝野町産のホップを使ったクラフトビール事業を軸に、行政や地域の民間事業者を巻き込みながら、公園・まちが一体となった地域づくりの活動を展開していました。まち歩きをして、地場産業の丹後ちりめんや飲食店の方の想いに触れ、「また与謝野に訪れたいくなる仕掛け」についてのメンバーでの議論を行い、民間事業を通じた地域の課題解決や公園の利活用など、様々な学びがある視察となりました。

